

2024年度 第1四半期 決算説明資料

2024年8月7日

リンナイ株式会社

Rinnai

免責事項

本資料に含まれる見通し、予想、戦略その他将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまなリスクおよび不確定な要素により当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としていません。

2024年度 第1四半期 連結決算要点

売上高 : **981.8億円** (前期比: +9.3%)

世界的に事業環境が正常化するなか、為替換算影響もあり、過去最高売上

過去最高

営業利益 : **87.1億円** (前期比: +180.0% 利益率: 8.9%)

国内での原材料費の高騰が続くも、価格改定や原価低減活動の効果により、増益

経常利益 : **108.8億円** (前期比: +84.7% 利益率: 11.1%)

営業増益に加え、為替差益も寄与し、増益

親会社株主に帰属する

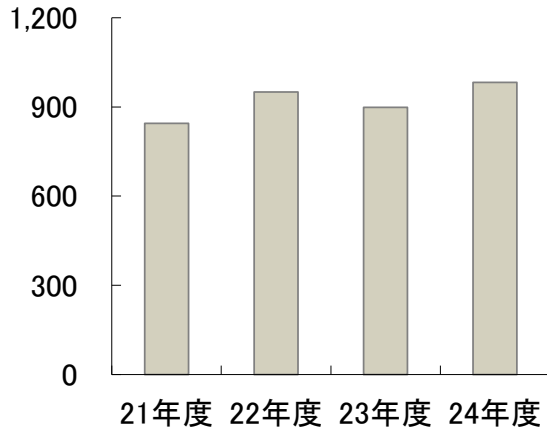
四半期純利益 : **68.1億円** (前期比: +107.3% 利益率: 6.9%)

■ 正常な事業環境に回復し、中期経営計画の達成に向けて順調なスタート

連結業績推移(第1四半期)

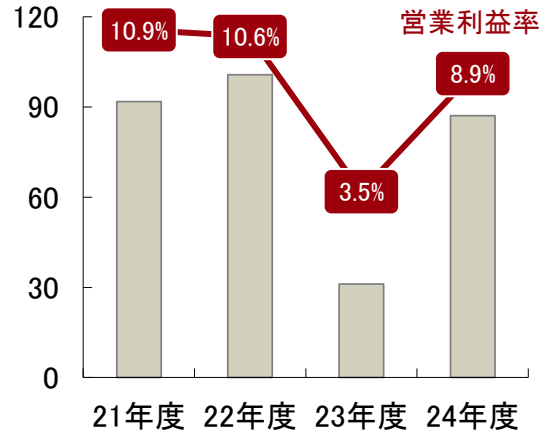
売上高

(単位:億円)



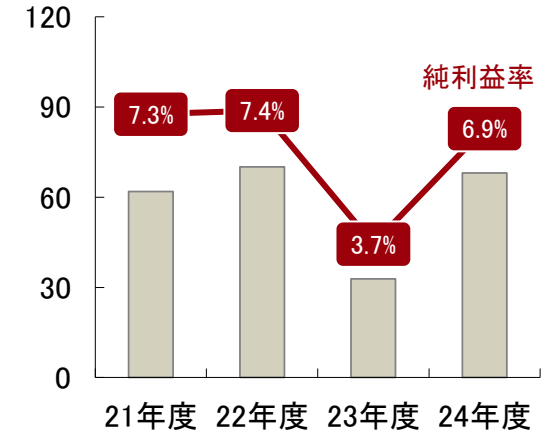
営業利益

(単位:億円)



親会社株主に帰属する 四半期純利益

(億円:億円)



- 世界的に住宅市場が低調に推移するも、価格改定や為替換算影響もあり、過去最高売上
- 主要市場である日米での在庫影響が解消し、正常な事業環境のもと、稼ぐチカラが復調

2024年度 第1四半期 機器別売上高の内訳

[単位:億円]

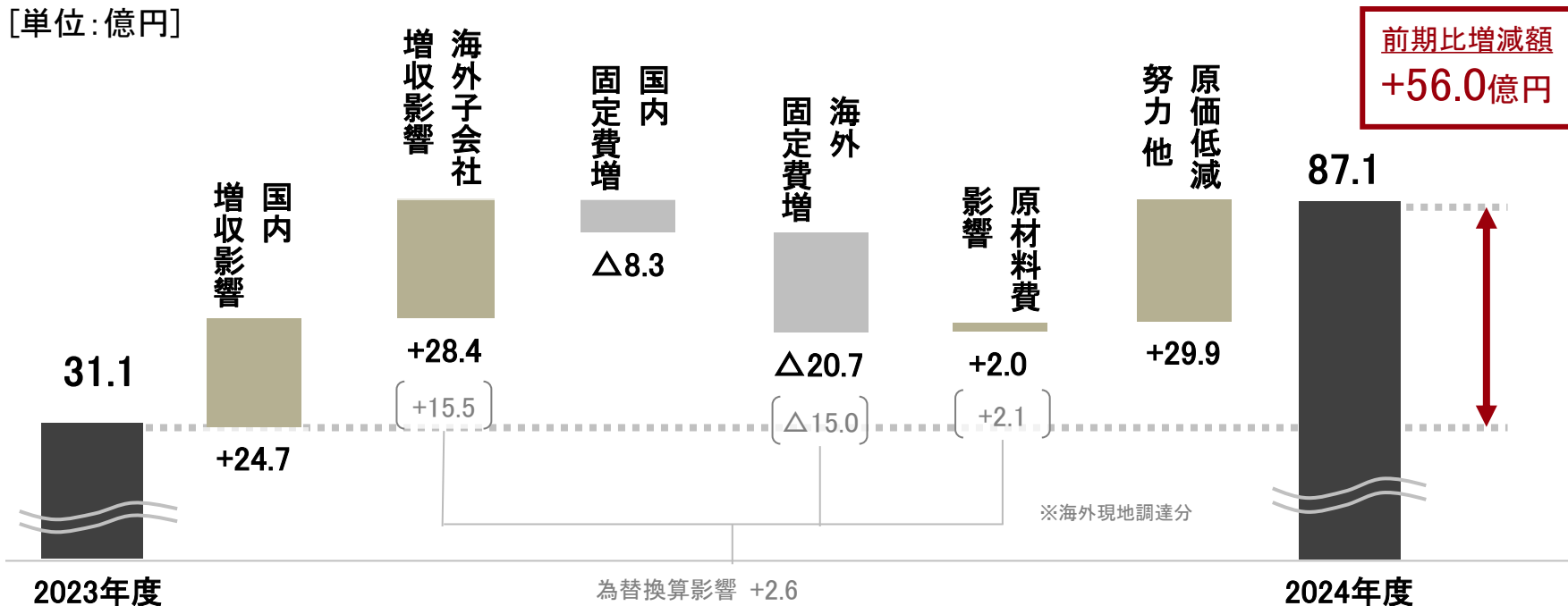
機器別	2023年度		2024年度		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
給湯	537.2	59.8%	577.3	58.8%	+40.1	+7.5%
厨房	203.3	22.6%	223.8	22.8%	+20.5	+10.1%
空調	35.8	4.0%	38.1	3.9%	+2.3	+6.5%
業用	25.0	2.8%	27.2	2.8%	+2.1	+8.7%
その他	97.0	10.8%	115.1	11.7%	+18.1	+18.7%
合 計	898.5	100.0%	981.8	100.0%	+83.3	+9.3%

2024年度 第1四半期 連結セグメント別 損益実績内訳

[単位:億円]	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
連結	981.8	+9.3%	87.1	+180.0%	8.9%	+5.4pt
	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
日本	441.6	+4.8%	49.3	+171.2%	11.2%	+6.9pt
アメリカ	156.7	+24.8%	0.4	-	0.3%	+14.2pt
オーストラリア	72.4	+7.0%	1.0	△50.6%	1.5%	△1.7pt
中国	102.1	+2.2%	11.9	△16.3%	11.7%	△2.6pt
韓国	86.4	+8.0%	3.1	+137.2%	3.7%	+2.0pt
インドネシア	43.1	+29.8%	9.3	+77.2%	21.7%	+5.8pt
その他	79.2	+12.3%	11.9	+20.2%	15.1%	+1.0pt
調整額	-	-	△0.1	-	-	-

2024年度 第1四半期 連結営業利益分析

[単位:億円]



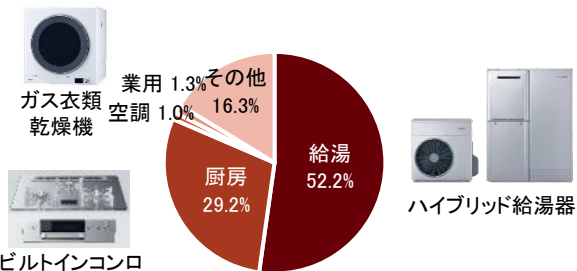
■ 事業活動の正常化に伴い、生産効率が改善。原価低減努力他の効果が拡大

日本 セグメント 2024年度 第1四半期 実績

■ 対象会社

リンナイ単体、国内連結子会社（製造・販売）

■ 商品別売上構成比（2024年度 1Q実績）



■ セグメント実績

（単位：億円）	2023年度	2024年度	増減率
売上高	421.4	441.6	+4.8%
営業利益	18.1	49.3	+171.2%
営業利益率	4.3%	11.2%	+6.9pt

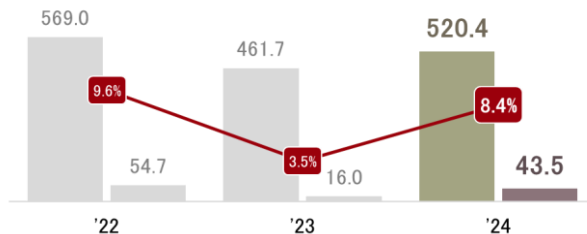
■ 主要会社 個別業績

リンナイ単体

- コロナ下の需給バランスの乱れが落ち着き、正常な事業環境で期初を迎える
- 独自性の高いハイブリッド給湯器やガス衣類乾燥機などの販売が大きく伸長
- 原材料価格が高騰するなか、価格改定効果と生産稼働率アップで増益

【リンナイ単体 第1四半期 実績】

■：売上高 ■：営業利益 ●：営業利益率（単位：億円）



（単位：億円）	2023年度	2024年度	増減率
売上高	461.7	520.4	+12.7%
営業利益	16.0	43.5	+171.2%
営業利益率	3.5%	8.4%	+4.9pt



（販売台数：国内）	前期比増減率
給湯暖房機	△17.5%
ハイブリッド給湯器	+57.0%
ビルトインコンロ	△10.9%
ガス衣類乾燥機	+36.6%

日本トピック ~ハイブリッド給湯・暖房システム ECO ONE~

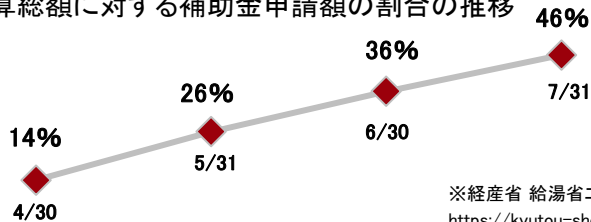
■ 高効率給湯器 (ECO ONE含む) に対する補助金 (給湯省エネ2024事業)

・予算総額: 580億円

※うち、40億円は、電気温水器および電気蓄熱暖房機の撤去に対する補助を予定

ECO ONEは全機種15万円/台			
	戸建住宅		集合住宅
	一般住宅	狭小住宅	
新築	24/4 モデルチェンジ 160Lタイプ	22/6発売 X5 (70Lタイプ)	23/9発売 
既築	23/9発売 	ECO ONE X5 PLUG-IN MODEL	X5 PS/ベランダ 設置型

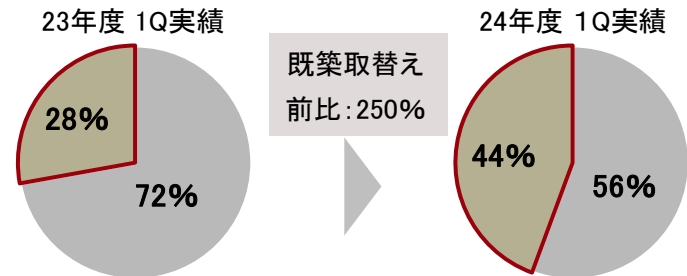
・予算総額に対する補助金申請額の割合の推移



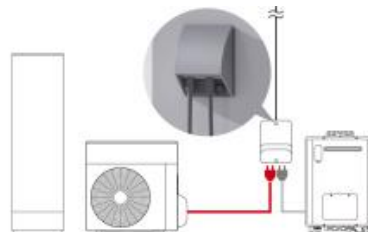
※経産省 給湯省エネ2024事業HPより
<https://kyutou-shoene2024.meti.go.jp>

■ ハイブリッド給湯器の新築・既築取替えの比率

■ : 新築向け ■ : 既築取替え



・ヒートポンプ専用電源配線が不要な「X5 PLUG-IN MODEL」が牽引



ガス給湯器からの取り替えの場合、
既設の屋外コンセントが使用可能※

※個別配線ブレーカーは20Aであること

日本トピック ～厨房機器新製品 DELICIA～

2024年8月20日発売

※希望小売価格

100Vタイプ 税込434,830円～

3Vタイプ 税込379,500円～

■ 新調理器具(ザ・ココット ラウンド、トースト・ピザプレート)が登場

・大容量なコンロ上専用無水調理鍋(ザ・ココット ラウンド)が選択可能に

調理器具	ザ・ココット	ザ・ココット ラウンド
		
容量	2.4L	3.1L
重さ	1.7kg	1.7kg
寸法	高さ 110×幅 228×奥行 272mm	高さ 139×幅 287×奥行 232mm
対応箇所	コンロ上、グリル	コンロ上



<無水調理>

コンロ上で作るたっぷり無水カレー



<蒸し調理>

えびシューマイ



<煮る調理>

鶏とかぼちゃの塩煮



<オープン風調理>

りんごケーキ

・トースト・ピザプレートが全機種に付属



・プレートに接した面からトーストの水分が逃げにくく、ふわっとした食感を実現

■ +R RECIPEでの連続オート調理・仕上がり調整が可能に

・一部のレシピで、連続オート調理が可能に

・お好みで仕上がり調整も可能に



基本のハンバーグ



揚げないグリルとんかつ



贅沢バタートースト



とろーりちどけ焼き芋



■ オールブラック仕様をラインナップ

・根強い人気を誇るブラックで統一したオールブラックモデルが登場

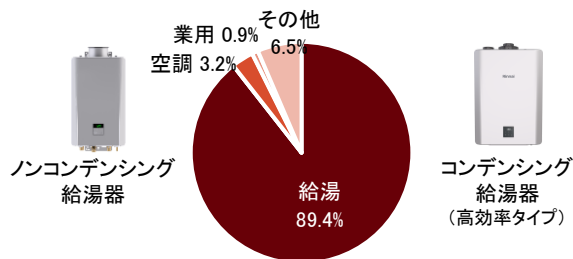


アメリカ セグメント 2024年度 第1四半期 実績

■ 対象会社

リンナイアメリカ

■ 商品別売上構成比（2024年度 1Q実績）



■ セグメント実績

(単位: 億円)	2023年度	2024年度	増減率
売上高	125.5	156.7	+24.8%
営業利益	△17.4	0.4	-
営業利益率	△13.9%	0.3%	+14.2pt

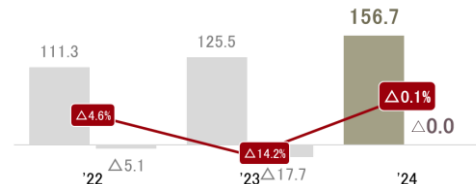
■ 主要会社 個別業績

リンナイアメリカ

- 新築市場には回復の兆しが見られるものの、中古住宅市場は低調に推移
- 新型コンデンシング給湯器の投入効果で、タンクレス給湯器販売が増加
- 展示会への出展などの新製品の積極的なPRにより、販促費用は増加

【リンナイアメリカ 第1四半期 実績】

■: 売上高 ■: 営業利益 -●-: 営業利益率 (単位: 億円)



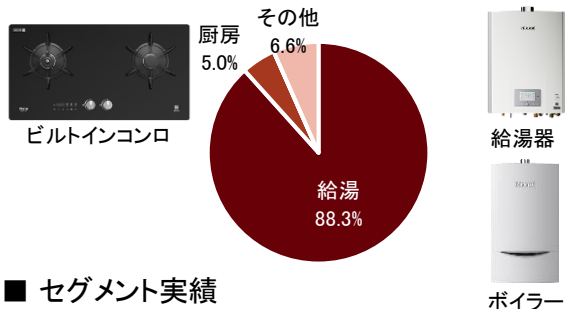
(単位: 億円)	2023年度	2024年度	前期比増減率		(販売台数)	前期比増減率
			円貨	現地通貨		
売上高	125.5	156.7	+24.8%	+12.5%	タンクレス 給湯器	+13.4%
営業利益	△17.7	△0.0	-	-	内)コンデンシング (高効率タイプ)	+41.9%
営業利益率	△14.2%	△0.1%	+14.1pt			

中国 セグメント 2024年度 第1四半期 実績

■ 対象会社

上海林内、広州林内、林内香港

■ 商品別売上構成比（2024年度 1Q実績）



■ セグメント実績

(単位: 億円)	2023年度	2024年度	増減率
売上高	99.9	102.1	+2.2%
営業利益	14.2	11.9	△16.3%
営業利益率	14.3%	11.7%	△2.6pt

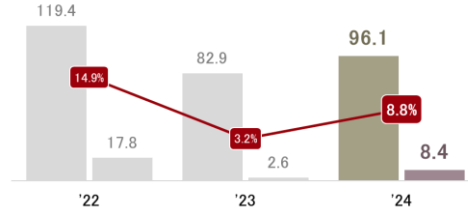
■ 主要会社 個別業績

上海林内

- 住宅市場の低迷や経済活動の停滞により、消費マインドは低調に推移
- ネット実店舗による販売地域の拡大により、主力の給湯器販売台数は増加
- 商品ミックスの悪化により、実質としては営業減益 ※参照

【上海林内 第1四半期 実績】

■: 売上高 ■: 営業利益 -●-: 営業利益率 (単位: 億円)



(単位: 億円)	2023年度※	2024年度	前期比増減率		(販売台数)	前期比増減率
			円貨	現地通貨		
売上高	82.9	96.1	+15.9%	+9.0%	給湯器	+9.2%
営業利益	2.6	8.4	+222.0%	+203.0%	ビルトインコンロ	△20.0%
営業利益率	3.2%	8.8%	+5.6pt		レンジフード	△4.6%
					ボイラー	+12.4%

※2023年第2四半期より、費用計上基準・収益認識の見直しを行っております。(従来は、セグメント内で調整)

上記の見直しを反映させた2023年度 第1四半期の実績は以下の通りです。

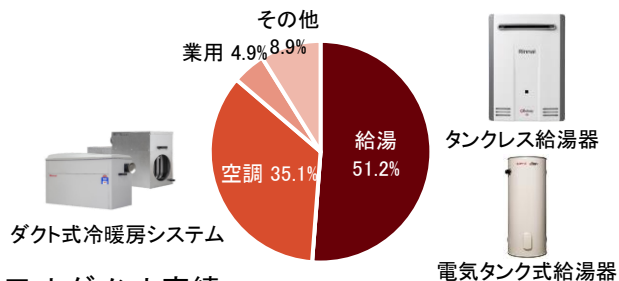
売上高: 94.7億円、営業利益: 12.3億円、営業利益率: 13.0%

オーストラリア セグメント 2024年度 第1四半期 実績

■ 対象会社

リンナイオーストラリア

■ 商品別売上構成比（2024年度 1Q実績）



ダクト式冷暖房システム

タンクレス給湯器

電気タンク式給湯器

■ セグメント実績

(単位: 億円)	2023年度	2024年度	増減率
売上高	67.7	72.4	+7.0%
営業利益	2.1	1.0	△50.6%
営業利益率	3.2%	1.5%	△1.7pt

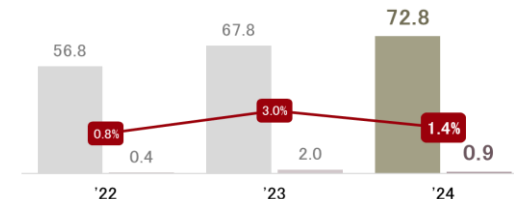
■ 主要会社 個別業績

リンナイオーストラリア

- 住宅市場が低調であることに加え、電化への市場変化が進む
- 主力のタンクレス給湯器が低調に推移するなか、電気商材の拡販を進める
- 利益率の高いタンクレス給湯器などのガス機器販売が減少し、利益率が低下

【リンナイオーストラリア 第1四半期 実績】

■: 売上高 ■: 営業利益 ●: 営業利益率 (単位: 億円)



(単位: 億円)

(単位: 億円)	2023年度	2024年度	前期比増減率		(販売台数)	前期比増減率
			円貨	現地通貨		
売上高	67.8	72.8	+7.4%	△0.2%	タンクレス給湯器	△3.1%
営業利益	2.0	0.9	△51.2%	△54.6%	電気タンク式給湯器	△3.6%
営業利益率	3.0%	1.4%	△1.6pt		ダクト式冷暖房システム	△18.9%

韓国 セグメント 2024年度 第1四半期 実績

■ 対象会社

リンナイ코리아、アール・ビー・코리아

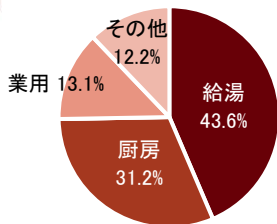
■ 商品別売上構成比（2024年度 1Q実績）



ガスコンロ



電気コンロ



親環境ボイラー

■ セグメント実績

(単位: 億円)	2023年度	2024年度	増減率
売上高	80.0	86.4	+8.0%
営業利益	1.3	3.1	+137.2%
営業利益率	1.7%	3.7%	+2.0pt

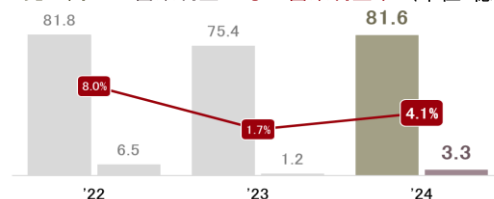
■ 主要会社 個別業績

リンナイ코리아

- 物価や金利の上昇による景況感の悪化が続き、ボイラー市場での価格競争が継続
- 一定の規律持ち、販売価格を統制するも、主力のボイラー販売が減少
- 競合企業による厨房部門の撤退により、商圈を拡大し、シェアがアップ

【リンナイ코리아 第1四半期 実績】

■: 売上高 ■: 営業利益 ●: 営業利益率 (単位: 億円)



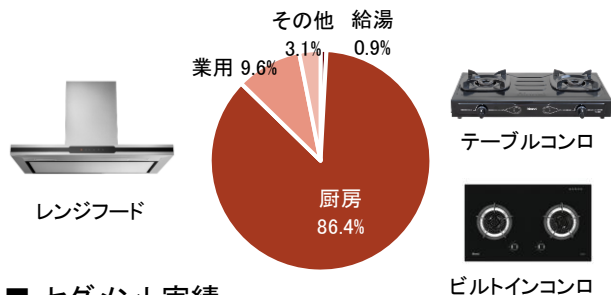
(単位: 億円)	2023年度	2024年度	前期比増減率		(販売台数)	前期比増減率
			円貨	現地通貨		
売上高	75.4	81.6	+8.2%	+1.3%	ボイラー	△19.2%
営業利益	1.2	3.3	+162.6%	+145.9%	ガスコンロ	+60.0%
営業利益率	1.7%	4.1%	+2.4pt		電気コンロ	+43.1%

インドネシア セグメント 2024年度 第1四半期 実績

■ 対象会社

リンナイインドネシア

■ 商品別売上構成比（2024年度 1Q実績）



■ セグメント実績

(単位: 億円)	2023年度	2024年度	増減率
売上高	33.2	43.1	+29.8%
営業利益	5.2	9.3	+77.2%
営業利益率	15.9%	21.7%	+5.8pt

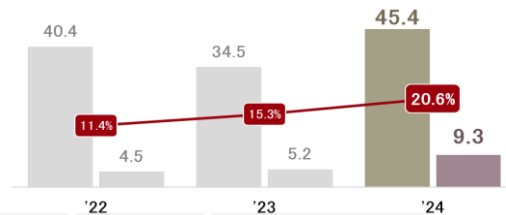
■ 主要会社 個別業績

リンナイインドネシア

- 物価上昇による消費マインドの冷え込みは、依然として継続
- 主力であるテーブルコンロでの価格改定実施前の駆け込み需要もあり、増収
- 原材料費が下がるなかでの価格改定の実施で、利益率が上昇

【リンナイインドネシア 第1四半期 実績】

■: 売上高 ■: 営業利益 -●-: 営業利益率 (単位: 億円)



(単位: 億円)	2023年度	2024年度	前期比増減率		(販売台数)	前期比増減率
			円貨	現地通貨		
売上高	34.5	45.4	+31.6%	+22.2%	テーブルコンロ	+18.6%
営業利益	5.2	9.3	+77.2%	+64.7%	ビルトインコンロ	+8.8%
営業利益率	15.3%	20.6%	+5.3pt		レンジフード	+2.1%

連結業績予想の進捗

[単位:百万円]

		売上高	営業利益	売上比	経常利益	売上比	親会社株主帰属 当期純利益	売上比
連結業績 【予想】	上期	212,000	17,300	8.2%	18,900	8.9%	11,500	5.4%
	前期比増減率	+10%	+71%		+27%		+46%	
	通期	450,000	45,000	10.0%	48,000	10.7%	28,300	6.3%
	前期比増減率	+5%	+14%		+4%		+6%	

連結業績 【実績】	第1四半期	98,185	8,717	8.9%	10,889	11.1%	6,817	6.9%
	前期比増減率	+9%	+180%		+85%		+107%	
	対上期進捗	46%	50%		58%		59%	

■ 売上・利益ともに計画をやや上回り進捗

■ 急激な円高も前提レートは保守的(USD:140円)に置いており、業績見通しの変更なし

